

私たちは精神・神経疾患の克服で 人々の幸福に貢献します。

NCNPファミリーで ゴールに向けて歩む

国立精神・神経医療研究センター (NCNP) は「精神疾患」「神経疾患」「筋疾患」「発達障害」の4領域を克服し、脳と心の健康大国を達成することを使命としております。その実現のために3つのゴールを掲げました。

1. 世界トップレベルの研究開発
2. 世界トップレベルで、安全・安心な診療
3. 健全な運営・経営

NCNPではすべての職員が同じ船に乗るファミリーとして、またファミリーの一員である患者さんのため、ミッションの達成に向け、これからも歩み続けます。



脳とこころと体の
最先端医療に取り組む

研究・開発

国立高度専門医療研究センターとして、精神・神経疾患等の臨床研究推進のための中核的役割を担い、基礎研究はもとより、臨床研究、治験を円滑に実施しています。また、多くの外部施設との共用研究基盤整備を行い、研究資源の適切な活用を実現する司令塔機能を果たすこと等を通じて、国際水準の研究成果を継続的に創出することを目指しています。

医療の提供

精神・神経疾患等の研究成果を活かし、患者さんをはじめ皆様の生活の質の向上を目指した医療を提供します。特に、希少疾患や重症・難治性疾患等については、症例、臨床情報の集約を行い、高度先駆的な医療を提供しています。また、これらの疾患の特性による、患者さんのご家族や介護者等の身体的、精神的、経済的負担等にも配慮した支援も行っています。

情報発信

精神・神経疾患等に関する基本情報や、予防・診断・治療法等について、様々なメディアや関係機関を通じて、適切な情報発信を行っています。また、特に災害等の緊急時においては、蓄積した信頼性の高い研究成果に基づく実用性のある情報提供を迅速に行っています。

政策提言

精神・神経疾患等に関する政策の企画・立案に関して、先行研究の分析、疫学研究、臨床研究等により、様々なサポート・貢献をしています。また、医療政策や自殺対策等の緊急性の高い課題に対し、国内外での研究成果や実態調査結果等に基づく、専門的な政策提言を行っています。

人材育成

レジデントやリサーチフェロー等への充実した教育・指導システムによって、専門性を有するリーダー的人材の養成を進めるとともに、医療従事者等に対する各種モデル的研修・講習の実施を推進しています。また、地域医療の指導的役割を担う人材や臨床研究の推進者を育成し、医師、研究者以外の職種にも対応した課程も整備しています。

NCNP

ANNUAL REPORT 2019-2020

CONTENTS

- ▶ NCNPのミッション 1
- ▶ 理事長メッセージ 2
- ▶ NCNPの組織・基本理念 4
- ▶ 研究と医療最前線2019-2020
 - 脳の数理モデルを用いて 8
 - 精神障害の病態に迫る
 - 赤ちゃんの脳を守るための 10
 - 新しい分子を発見
 - 新しい実験動物をつくり 12
 - 新しい治療法を見つける
 - 睡眠の可視化〜良い睡眠とは〜 14
 - ストレスの研究から精神疾患の病態に迫る 16
 - 早めの診断と手術によって 18
 - 子どもの脳を守る
 - 双極性障害の新たな治療を目指して 20
 - 運動失調症の全貌を解明する 22
 - 患者登録研究
 - チームワークで、治療効果を最大に 24
 - 人と社会をつなぎ、ともに考える 26
 - 対話を通じた倫理支援を
 - ゲノム医療の実現へ 28
 - ヴァーチャルリアリティ (VR) 30
 - セラピーへの挑戦
- ▶ NEW FACE 紹介 32
- ▶ NCNP の活動2019-2020 33
 - 新型コロナウイルス (COVID-19) 対策 /
 - 臨床心理部 / 公開活動 / 看護活動 /
 - 産学官連携 / 国際交流 / 連携大学院・連携協定
 - 機関 / 研究倫理 / 人材育成 / 広報活動
- ▶ NCNPの変遷 46
- ▶ NCNPの財務状況 48

